

各関係機関長 殿

岡山県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報の発表

病害虫発生予察特殊報第3号を下記のとおり発表したので送付します。

令和7年度病害虫発生予察特殊報第3号

令和8年 3月 9日

岡 山 県

1 対象名 ショウガ褐色しみ病

2 病原菌 *Musidium stromaticum*

3 発生作物名 ショウガ

4 特殊報の内容 県内でショウガ褐色しみ病の初発生を確認

5 初発生確認月日 令和7年10月20日

6 発生確認場所 岡山県津山市

7 発生面積 14a

8 発生確認の経過

令和7年10月に津山市のショウガ栽培ほ場で、根茎に褐変が生じている株が確認された（写真1）。岡山県病害虫防除所において、分離菌のショウガ根茎への病原性の確認、形態観察を行い、神戸植物防疫所に同定依頼したところ、本県では未発生の *Musidium stromaticum* によるショウガ褐色しみ病であることが確認された。

9 国内での発生状況

令和元年に高知県で初発生が確認後、和歌山県での発生が確認されている。また、鹿児島県において、同菌による茎枯症状が報告されている。

10 本病の特徴

(1) 病徴

ショウガの根茎表面に褐色で円形～不整形、1～2mmの小型の斑点又は10～20mm程度の斑点が形成される（写真1）。

(2) 発生生態

詳細な生態は不明であるが、土壌伝染及び種根茎を介して伝染すると考えられている。

11 防除対策及び参考事項

(1) 定植前に太陽熱土壌消毒等を実施する。

(2) 健全な種根茎を使用する。

(3) 本症状が確認されたほ場で用いた資材や機材、長靴などを別ほ場で使用する際は、消毒や洗浄を十分に行う。

(4) 令和8年3月2日現在、本病に対して、ベンレート水和剤（1,000倍散布、収穫21日前まで、2回以内）及びトリフミン水和剤（1,000倍散布、収穫前日まで、5回以内）の登録がある。



写真1 根茎の褐変症状（白丸）

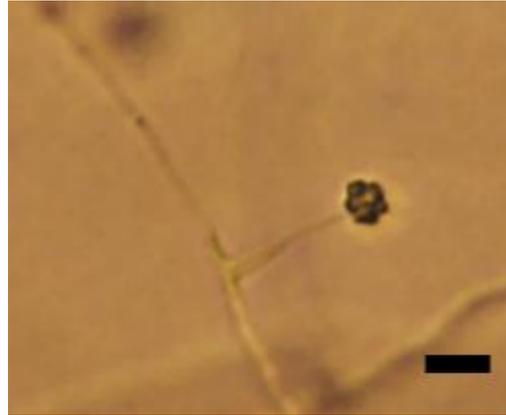


写真2 分離菌の形態的特徴（分生子柄と分生子）

注) スケールバー：10 μ m

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。アドレスは、
<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/> です。

